



# 新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

H31. 3月号

No. 208

3月の旧暦「弥生」の語源をご存じでしょうか？一説によると「いやおひ」が変化したもので、草木がだんだんと芽吹くという意味があるそうです。

また3月の二十四節気は、啓蟄と春分の日です。冬籠りの虫が土から出てきて昼と夜の長さがほぼ等しくなる時期を迎えます。

3月は、虫も植物も長い冬を乗り越え、暖かい春の到来を歓迎する月なのかもしれません。そして気温が上がり雪解けが進むと外へ出歩きたくなるのは人も同じこと。新屋図書館まで足を延ばしていただけましたら幸いです。

## 3月のおはなし会



3月2日（土）

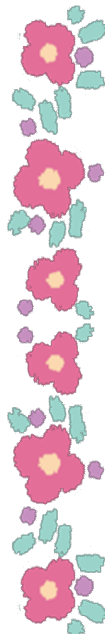
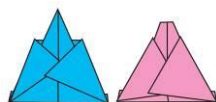
14:00～14:40

うれしいひなまつり

～折り紙・わらべうた～

おはなしの部屋

幼児～小学生



3月12日（火）

10:30～11:00

もうすぐ春ですよ

～絵本・手遊び～

おはなしの部屋

赤ちゃん～



## 新刊案内

### みんなのどんぐり帽

大人も子どもも使える手編みのニット帽  
日本文芸社 請求記号 594 (編物)

ちょこんと飛び出たどんぐりのような帽子。子どもはもちろん、家族みんなでかぶっておでかけしたら、気分までウキウキしちゃいます。ベーシックなものからポンポンつき、寒い日用の耳当てつき、男性に似合う帽子や夏素材のものなど、一年中みんなで楽しめる帽子の作り方。



### おうちでできる おおらか金継ぎ

堀 道広 / 著  
実業之日本社 請求記号 751 (陶芸)

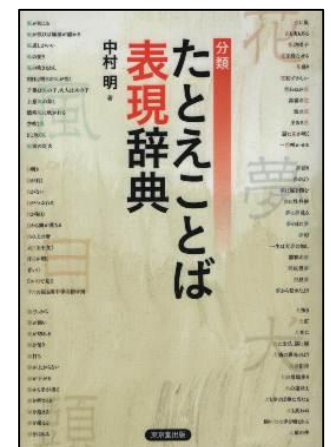
金継ぎとは、器の修理技法のこと。漆を使うし、骨董品や高級なお皿に職人が施すものでしょう？いえいえ、そんなことはありません。普段使いの器、お気に入りの器が割れてしまったとき、これからは自分の手で繕って、使い続けていきませんか。



### 分類たえことば表現辞典

中村 明 / 著  
東京堂出版 請求記号 R816 (辞典)

「自然」「人間」「社会・生活」「文化・学芸・宗教」「抽象」5つの大項目をさらに細分化し、日本語の比喩表現を事項別分類配列した辞典。猫を見てみると、頻繁に使う猫舌から、猫跨ぎ、猫の魚辞退、猫に唐傘、猫が手水を使う、猫の鼻と女の腰…全部わかりましたか？



### でこぼこ むりぬり なにがでる？

松田 奈那子 / 作  
アリス館 請求記号 Eマ (絵本)

紙を軽くこするように、クレヨンたちがむりぬり……。すると、模様が見えてきた！紙の下にでこぼこしたものを置いて色を塗る、「こすりだし」だよ。クレヨンたちが持ってきたでこぼこは何か？みんなも見つけてみよう！



## 図書館員（大石 美和子）のおすすめ本

書名	マイパブリックとグランドレベル
著者名	田中 元子／著
出版社	晶文社
所蔵	明德
	請求記号 518 (まちづくり)



公共って何？社会全体のこと？公園、公民館、公共施設、それって全部行政がやること？  
タイトルの「マイパブリック」は著者の造語で、自分で作る公共、私設公共の意味だそう。私設だから、みんなのものという定義はありません。怪我をしたら廃止、危険だからダメ、感染症予防で撤去…。みんなの希望、みんなの安全対策、クレーム対応、そんな禁止主導の公

共は、誰にとっても楽しくない！自由主導の公共を、様々な人が様々に私設で作ри、参加・滞在する側も自分に合う公共を選択する。ああ、公共って、施設じゃなく人との関係性なんだよな。そんな当たり前のことを教えてください。

事務所の一角で始めた無料のバーから、手作り屋台でコーヒー配り、ベンチの設置、著者の事例を読んで、さて、私は何を作ろうかな。

## 図書館員（佐藤 美郷）のおすすめ本

書名	ボタンちゃん
著者名	小川 洋子／作 岡田 千晶／絵
出版社	PHP研究所
所蔵	新屋・明德・雄和・河辺
	請求記号 Eオ (絵本)



アンナちゃんのおききのブラウス。一番上にとまっているのが、ボタンちゃんです。ある日、ブラウスの糸が切れてしまい、ボタンちゃんはおもちゃ箱の裏側へ転がっていきました。すると、小さな泣き声が聞こえてきます。泣いていたのは、アンナちゃんが赤ちゃんのころ握っていた、おもちゃのガラガラでした。自分のことなど忘れてしまったのだろうかと思

むガラガラに、ボタンちゃんは優しく語りかけます。「もう、あなたがいなくても大丈夫になったのよ」少し大きくなった、今のアンナちゃんのことを、ボタンちゃんは話して聞かせます。

『博士の愛した数式』の著者で知られる小川洋子氏の、初の絵本。大人にもおすすめの一冊です。

## 記事になったお酒の話題あれこれ・・・「春の訪れを祝う酒」

昔々は立春が一年の最初の日で、その前日の節分は、一年の最終日だと考えられていたそうです。

その立春にあわせて日本酒の搾り作業を行い純米吟醸の生原酒「立春朝搾り」が出荷されました。立春朝搾りは春の訪れを祝う酒として、「日本名門酒会」に加盟する全国の蔵元酒販店が出荷、販売。今年は45蔵元が参加。蔵人がもろみを搾り瓶詰されたお酒は地元神社の宮司からお祓いをうけ各店に運ばれたとのこと。各蔵元では酒蔵開放され試飲や見学のイベントで楽しい催しが開催されるこの時期、日本酒ファンにはたまらない季節。良いお酒でよい時間を過ごしたいものです。

新屋は、醸造の街。  
新屋図書館には、酒の  
資料コーナーがあります。

【参考資料】  
秋田魁新報  
2019年2月6日

## 平成ってどんな時代？ …平成22年…

平成22年(2010年)8月に起きたチリの落盤事故は、今も記憶に残っている人も多いのではないのでしょうか。地底に閉じ込められた作業員33人が69日ぶりに全員生還し、奇跡の救出劇と日本でも大きく取り上げられました。

この年に行われた冬季五輪バンクーバー大会では、昨年現役に復帰した高橋大輔選手が日本男子初となる銅メダルを獲得。また、惜しくも銀メダルとなった浅田真央選手が悔し涙を見せた会も印象的でした。

秋田では、秋田市新屋の町屋(旧高彦製麺所)が登録有形文化財に指定された年でした。また、新潟県佐渡市で放鳥されたトキが1羽、由利本荘市に飛来するというほっこりと心温まるニュースもありました。

【参考資料】

『読売報道写真集2011』『DATA秋田 さきがけ年鑑2011』

## 図書館員のひとりごと

新屋図書館に異動して、この3月でまる12年！驚きの年月が経過しました。

異動したときには短大だったお隣の美大が4年制大学になり、院ができました。学生たちは新屋の町に飛び出して、年々なくてはならない存在になっていることは間違いありません。

新屋のお祭り鹿島さんやものまちさんぽ、水祭りなど、学生と親しくなる機会も増え、自然と自分も町に飛び出し、新屋の方々との交流も増えていきました。感謝、感謝です！！

新屋は本当に素敵な町です。それもこれも「人」だなあとしみじみ感じます。(大石)

昨年の10月から新屋図書館で働き始め、わたしの趣味は読書になりました。小学生の頃はよく通っていた図書館にも残念ながら行かなくなり、本をあまり読まない生活をしていましたが、今はたくさんの本に囲まれた生活。1日に1度は必ず本を開いています。

先日、小学生のころ通い詰めた地元の図書館で新しくカードを作ってもらいました。懐かしさでわくわくしながら。帰省して時間があると行ってしまいます。秋田市の図書館でも本を借りて、地元の図書館でも本を借りて。本に囲まれた生活っていいですね。(金谷)